

(様式 1)

令和 4 年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立吾嬬立花中学校
校長名	佐藤 順一

1 本校の学力に関する状況

(1) 墨田区学習状況調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・ 1 学年の国語・数学・英語、2 学年の国語で目標値を超えている。(昨年度長期目標達成)・ 3 学年の数学で、昨年度目標値-3.6 ポイントから今年度目標値-0.8 ポイントに、3 学年の理科で昨年度目標値-2.3 ポイントから今年度目標値-1.6 ポイントに、3 学年の英語で昨年度目標値-1.4 ポイントから今年度目標値-0.7 ポイントに改善した。(昨年度短期目標達成)	<ul style="list-style-type: none">・ 2 学年の国語を除く 4 教科で、3 学年の全教科で目標値に至らなかった。(昨年度長期目標)・ 1 学年社会、2 学年数学・理科・英語、3 学年社会・数学・理科・英語で、D・E 層の人数が 40%を超えている。(昨年度長期目標)・ 1 学年社会、2 学年社会・数学・理科、3 学年社会・数学・理科・英語で、A・B 層の割合< D・E 層の割合になっている。(昨年度短期目標)

(2) 意識調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・「好きな教科や授業がある」に肯定的な回答をした生徒が、1 学年で 94.7%、2 学年で 90.5%、3 学年で 83.3%いる。	<ul style="list-style-type: none">・ 平日に家庭で学習しない生徒が、1 学年で 7.6%、2 学年で 16.9%、3 学年で 14.5%、休日に家庭で学習しない生徒が、1 学年で 16.7%、2 学年で 27.7%、3 学年で 23.9%いる。

(3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・ 令和 4 年度第 1 回の英語検定の受検者が 56 名、漢字検定の受検者が 33 名、数学検定の受検者が 20 名と、授業以外の学習にも取り組んでいる生徒が多くいる。また、数学の放課後補習教室に 29 名の生徒が自主的に参加している。	<ul style="list-style-type: none">・ 宿題の提出状況はおおむね良いが、提出することが目的になってしまい、宿題の内容の定着が疎かになってしまう生徒がいる。

2 本年度の学力向上に関する主な取組

(1) 知識・技能の習得の徹底

墨田区学力調査の問題を分析し、現在の子どもたちが習得することを求められている学力を再確認した上で、継続的に、知識・技能を定着させる取り組みを行う。

①授業の開始時や、単元が変わるタイミング等、定期的に小テストや単元テストを行うことで、既

習事項を繰り返し復習し、知識・技能の定着を図る。

- ②学校全体での学習時間である吾立学院において、墨田区学力調査や都立入試の問題分析をもとに、演習問題を用意し、教え合いを通して、長期的な知識・技能の定着を図る。
- ③家庭学習習慣の定着のために、授業内で本時の授業に関して復習すべき内容（教科書・ワーク・ミライシード・スタディサプリ等）を具体的に指示し、指示された内容の復習を自主学習として行えるようにする。

（２）思考力・判断力・表現力の育成

基礎・基本の定着を図った上で、思考力・判断力・表現力の育成を目的に、より深い学びができる課題を、適宜扱っていく。

- ①墨田区学力調査や都立入試問題を分析し、新学習指導要領において求められている思考力・判断力・表現力を必要とする問題を吟味し、授業内で適宜扱う。また、ロイロノート等 I C Tを活用することで、学び合い、教え合いの時間を確保し、主体的・対話的で深い学びの実践を行う。
- ②思考力・判断力・表現力を正しく見取れるよう、課題や定期考査の出題方法を工夫し、問題形式に関わらず問われていることを適切に捉えて答えられる能力を育成する。

（３）家庭学習習慣の定着

意識調査において、家庭で学習しないと答えている生徒が約 15%程度いることを考え、家庭学習習慣の定着を目的とし、1日最低1時間の自主学習を全学年の生徒に宿題として課す。

①学習内容

- ・授業で学んだ内容の復習
- ・自主的に復習したい内容
- ・各教科で基礎・基本の定着を目的に出された宿題

②確認方法

- ・学習時間については、学習カードを作成し、毎日記録をつけさせる。
- ・学習内容については、学習したノート、教材等の写真を撮影し、ロイロノートで提出させる。

※家庭での自主学習が難しい生徒については、放課後に自習教室を開き、学習を進めてから下校させるように支援し、自主学習ができるような環境を用意する。

3 「令和5年度 墨田区学習状況調査」における目標

（１）目標

- ・現1学年は教科全体の平均正答率で目標値以上を維持する。現2学年は教科全体の平均正答率で目標値を目指す。
- ・全学年、全教科、C・D・E層の底上げを図り、D・E層の割合を40%以下にする。